

別紙様式 1

令和 4 年度宮原中学校区研究推進計画

校番 (1 2) 呉市立宮原小学校

校長名 小竹 術

1 学校教育目標

- 宮原中学校 「夢を志に～未来を拓く力の育成～」
- 坪内小学校 「みずから ひらく」
- 宮原小学校 「学び考え行動する人を育てる」

2 目指す児童生徒像

自分を磨き、社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等		
	①知識・技能	②論理的思考力・判断力・表現力	③主体性・協働性	④自己指導力 (自律・貢献)	⑤郷土愛
後期	新たに獲得した知識や情報を関連付けたり再構成したりして、さまざまな場面で生きて働くための基本的な知識・技能を身に付けている。	精査した情報を関連付けたり再構成したりして課題解決へ向けた考えを形成し、根拠を明確にして適切に表現することができる。	新たな価値の創造へ向けて対象に主体的に働きかけ、他者を尊重しながら見通しをもって課題を解決することができる。	自律して行動することができる。 中学校区の学校や社会のために貢献しようとして行動することができる。	地域社会の一員としての自覚をもって主体的に関わり、地域に愛着と誇りをもつことができる。
中期	新たな知識や情報に関連付けたり組み合わせたりして、さまざまな場面で活用するための基本的な知識・技能を身に付けている。	必要な情報を比較・関連付け・整理分析して課題解決について論理的に考え、根拠を明確にして表現することができる。	対象に積極的に働きかけ、他者の考えを受け入れながら課題を解決することができる。	規範の意味や価値を理解し、自ら判断して正しく行動することができる。 学校や地域のために貢献しようとして行動することができる。	地域の歴史や伝統・文化を知ってつながりを大切にし、地域に愛着をもつことができる。
前期	新しい知識や情報をさまざまな場面で活かすための基本的な知識・技能を身に付けている。	複数の情報を比較・分類・整理して課題について筋道立てて考え、理由を明確にして説明することができる。	身の回りの人・もの・ことに積極的に関わり、協力しながら課題を解決することができる。	規範に沿って自ら判断し、正しく行動することができる。 よりよい学級、学校にしようとして活動するとともに、地域のためにできることを考え行動することができる。	地域の良さや特色を知って積極的に関わり、地域を好きになることができる。
	新しい知識や情報を他の場面で活かすための基本的な知識・技能を身に付けている。	身の回りの事柄についての気づきをもとに、課題について順序よく考え、理由を挙げて説明することができる。	身近な人・もの・ことと進んで関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。	学校のきまりや生活のルールを守って行動することができる。 自分から進んで学習や生活に取り組み自分のことは自分でやろうとする。	地域の良さを知り、地域を好きになることができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現と自己指導力の育成
～「考える授業」づくりと積極的な生徒指導を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

令和3年度、本中学校区では、「『考える授業』づくり」として、「思考を深めるための授業構成」「児童生徒の主体的な思考を促し高める発問」「タブレット等のICT機器の効果的な活用」の3点を中心に、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、授業改善に取り組んだ。併せて、あらゆる教育活動に生徒指導の3機能を取り入れ、児童生徒の自己指導力の育成を図ることを目指してきた。

授業改善の取組の結果、指標の一つである学力調査には、次のような数値が現れた。

指標	結果		
	坪内小（全国比）	宮原小（全国比）	宮原中（全国比）
全国学力学習状況調査 （令和3年5月実施）	国 71%（+6.3%） 算 73%（+2.8%）	国 66%（+1.3%） 算 70%（-0.2%）	国 59%（-5.6%） 数 52%（-5.2%）
標準学力調査 （令和3年12月実施）	国 73.5%（±0%） 算 73.1%（+2.2%）	国 71.5%（-2.0%） 算 67.3%（-3.7%）	国 71.7%（+5.3%） 数 59.9%（-4.1%）

この数値から、算数科・数学科の学力に課題があることが分かる。令和3年度、授業改善の中心として、授業構成と発問の工夫に取り組み、児童生徒が思考を働かせている姿を想定しながら、授業研究に取り組んできた。しかし、十分ではなかったと言える。その一因として、児童生徒の実態を踏まえ、どのような力を付けるためにどのように授業構成や発問を工夫するのかといった視点が不足していたためではないかと考える。そこで、本年度は、児童生徒に付けたい力を明確に設定した上で、授業構成や発問の工夫を考える授業づくりを行う。そのためには、児童生徒の実態に応じ、授業改善に向けて工夫する内容を焦点化して研究を進めていくことも必要だと考える。

また、学びの基盤づくりにおいては、昨年度に引き継ぐ課題として「メディアコントロール」「早寝・早起き」の2点がある。この2点は、児童生徒の学習への影響が大きいだけでなく、「自己指導力の育成」という観点からも確実な定着を目指したい。そのためには、成果を自覚できるような「メディアコントロール週間」に改善するなどしながら、3校共通した取組を継続していく。併せて、「そうじ・あいさつ・くつそろえ」の更なる定着に取り組み、児童生徒の自己有用感を高めることを目指す。

以上のことから、令和4年度は、令和3年度の取組を引き継ぎながらも、児童生徒が自分自身の成長を自覚できるような授業づくりと、学びの基盤づくりを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現と自己指導力の育成を目指していきたい。

(3) 研究仮説

「考える授業」づくりと積極的な生徒指導を行うことで、児童生徒に「主体的・対話的で深い学び」を促し、自己指導力を育成することができるであろう。

5 研究内容

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

① 「考える授業」づくりに向けた取組

- ・児童生徒が生み出す問い
- ・児童生徒の問いを基にした学習課題

- ・問いの解決に向けた思考を促す発問（考えるための技法を活用させる発問）
- ・個で考え集団で広げ深める場と展開
- ・児童生徒が考えの変容（成長）を自覚する振り返り

②タブレット等のICT機器の効果的な活用

- ・教材や教材提示の工夫
- ・思考ツールの活用

(2) 自己指導力の育成を図る取組

○児童生徒の自律性を高める取組（「学びのルール」、「そうじ・あいさつ・くつそろえ」の徹底）

○児童生徒の郷土愛と貢献の意識を高める活動

（異学年グループによる体験活動・地域貢献活動の充実，児童生徒代表者会「宮原子どもサミット」の取組）

○家庭を巻き込んだ生活習慣の確立

（生活リズム改善「早寝・早起き・朝ご飯習慣」「家庭学習習慣」食育推進，体力向上，電子メディアコントロールの取組）

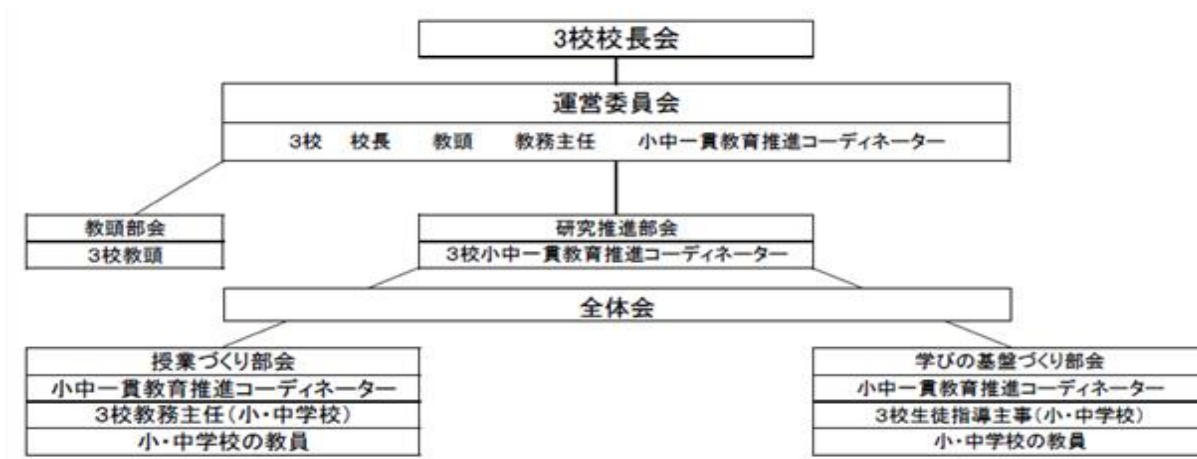
6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値 (R3)	達成目標
① 「考える授業」づくりによる授業改善ができたか。	学力調査及び単元テスト，定期試験	①学力調査における全国平均との差 ②単元テスト・定期試験の平均点	全国学力 坪小 +4.5 宮小 +0.5 宮中 -5.4 総合学力テスト 坪小 +1.1 宮小 -2.8 宮中 +0.6	①学力調査（全国学力） （坪小） 正答率を平均より3P以上 （宮原小） 全国平均以上 （宮原中） 全国平均以上 ②単元テスト （坪小） 30%未満を0 60%以上を80%以上 （宮原小） 国語：平均点85点以上 算数：平均点75点以上 ②定期テスト （宮原中） 30%未満を10%未満 60%以上を60%以上
	児童生徒アンケート	「主体的な学び」に関する項目の児童生徒の自己評価（4段階評価）	74% （ア：②）	肯定的評価 80%以上
② 児童生徒の自己指導力を高めることはできたか。	「学びのルール」「生活のマナー（そうじ・あいさつ・くつそろえ）」の状況	教師の見取りによる児童の姿（4段階）	学びのルール 86% （ア：⑩⑱）	肯定的評価 85%以上
	「生活リズム」の改善	児童生徒アンケート「基本的生活習慣」に関する項目の児童生徒の自己評価（4段階評価）	74% （ア：⑩⑫）	肯定的評価 85%以上

※ア＝学校生活に関するアンケート

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

（中→小）第6学年 英語（1），国語（1），数学（1） 各校3時間（計6時間）

（小→中）第7学年 国語補充（2），数学補充（2） 計4時間

イ 小学校教科担任制等

宮原小 第6学年・第5学年（音楽）（図画工作）（家庭科）

第4学年（音楽）（図画工作）

第3学年・第1学年（音楽）（書写）

第2学年（音楽）

坪内小 第6学年・第5学年（音楽）（家庭科）（書写）

第4学年（音楽）（図画工作）（書写）

第3学年（音楽）（書写）

第2学年・第1学年（音楽）

8 推進計画

月 日	内容		
	宮原中	坪内小	宮原小
4月5日(宮中) 5日(坪小) 4日(宮小)	各校での校内研修（今年度の方向性の確認）		
4月22日	第1回 小中一貫教育 運営委員会		
5月9日	第1回 子どもサミット		
5月25日	第1回 小中合同研修会（宮原中）		
6月1日	小中クリーン活動		
6月3日			授業研究（3年）算数 事前研5/22（日）
6月13日		授業研究（2年）算数	

6月22日	学力補充（宮小教員）		
6月23日	学力補充（坪小教員）		
6月22日	第1回 小中合同授業研究（宮原小2年） 指導講話 安田女子大学 朝倉 淳 教授 事前研修（宮原小）6/11（土）		
7月1日	あじさい剪定		
7月6日	授業研究（1年）理科		
7月7日	意識調査①（児童生徒・教職員）		
7月12日	ペタンク練習会（4年・7年）		
7月13日	第2回 宮原子どもサミット		
7月29日	第2回 小中一貫教育 運営委員会		
8月5日	第2回 小中合同研修会 指導講話 呉市教育委員会 細川裕香 指導主事		
8月18日			小学生学習会
8月19日	小学生学習会		
9月24日	ペタンク大会		
9月27日	第2回 小中合同授業研究（宮原中2年）数学 指導講話 安田女子大学 朝倉 淳 教授		
10月7日			授業研究（1年）算数 事前研 夏季休業中
10月12日		授業研究（6年）社会 指導・助言者 河野指導主事（呉市教委）	
10月28日	地域公開参観日		
11月2日			授業研究（6年）算数 事前研 夏季休業中
12月2日	意識調査②（児童生徒・教職員）		
12月7日	第3回 宮原子どもサミット		
1月13日	第3回 小中合同授業研究（坪内小4年） 指導講話 安田女子大学 朝倉 淳 教授 指導講話 呉市教育委員会 細川裕香 指導主事		
1月25日			授業研究（4年）算数 事前研 1/10（火）
1月31日	授業研究（1年）総合 指導講話 呉市教育委員会 本谷彰弘 主任指導主事		
2月7日	第3回 小中合同研修会 指導講話 呉市教育委員会 細川裕香 指導主事		
2月10日			授業研究（5年）算数 事前研 1/10（火）
2月14日	小中一貫教育コーディネート会		

2月21日	第3回 小中一貫教育 運営委員会
3月6日	第4回 宮原子どもサミット

9 その他

- ・小中一貫だより（年3回発行予定 各学校だよりの中に小中一貫教育の内容を加える。）

※ 研究構想図, カリキュラムマップを添付する。